

植物細胞壁実験法 データベース更新版

弘前大学出版会
増刊のご案内

石井忠・石水毅・梅澤俊明・加藤陽治・岸本嵩生・小西照子・松永俊朗 編著

2023年3月27日刊行！



内容

植物細胞壁は、植物に固有の組織で、植物の生命活動に必須なものです。また、バイオマス資源として地上で最も蓄積量が多く、再生産可能な資源でもあります。本書は基礎編と応用編の2部から成る植物細胞壁実験に関する研究者必携の実験書です。

基礎編では、呈色反応など多糖類やリグニンの伝統的な分析法から、高分解能 NMR や質量分析計、電子顕微鏡などの分析機器を用いた普遍的な分析手法を取り上げています。応用編では、多糖類やリグニンの構造解析や生合成、分解過程の研究を紹介しています。第一線の研究者が、植物科学・木質科学・資源科学などの分野の大学学部生や大学院生のために書かれた実験書です。また、研究者や技術者必携の実験書です。

植物細胞壁実験法、第3刷。2度あることは3度あった!!大好評につき、データベース更新版が刊行されることになりました。第一線の研究者達が未来の研究者へ紡ぐ。研究者達に届け!! 必見!!必携!!

◆ 目 次

◆基礎編

- 第1章 多糖類の分析
- 第2章 機器分析
- 第3章 リグニン分析
- 第4章 イメージング

◆応用編

- 第5章 材料の作出
- 第6章 細胞壁多糖類の調製と構造解析
- 第7章 細胞壁の生合成と分解
- 第8章 植物の免疫と防御応答の分子機構
- 第9章 データベース

